

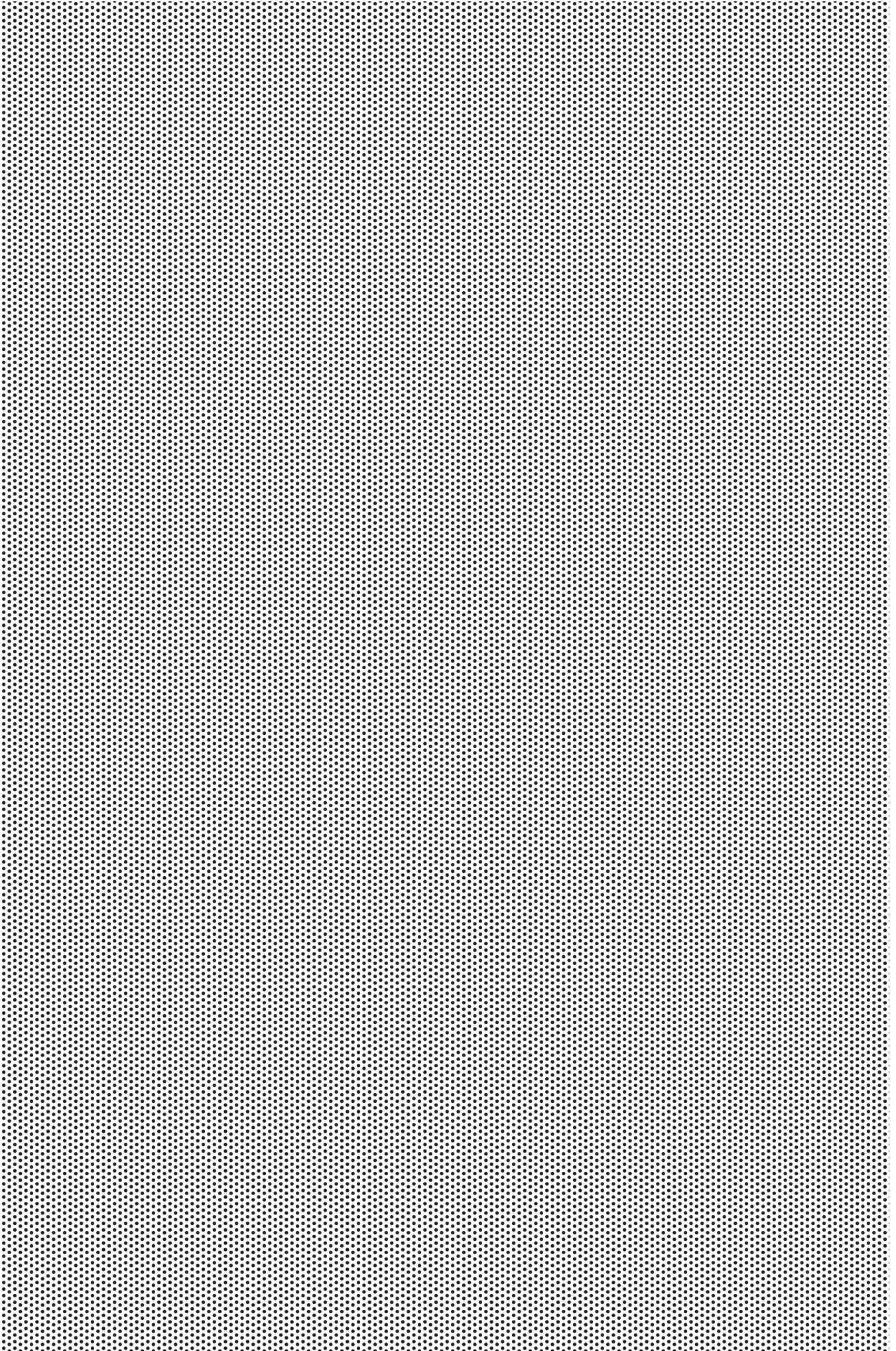
⑧ 高等学校 商業科問題の解答について（注意）

1. 解答はすべて、別紙のマークシートに記入すること。
2. マークシートは、電算処理するので、折り曲げたり、汚したりしないこと。また、マーク欄はもちろん、余白にも不要なことを書かないこと。
3. 記入は、HBまたはBの鉛筆を使って、ていねいに正しく行うこと。（マークシート右上の記入方法を参照）消去は、プラスチック消しゴムで念入りに行うこと。
4. **名前の記入** 名前を記入すること。
5. **教科名の記入** 教科名に「商業科」と記入すること。
6. **受験番号の記入** 受験番号欄に5けたの数で記入したのち、それをマークすること。
7. **解答の記入**
 - ア. 小問の解答番号は1から65までの通し番号になっており、例えば、25番を 25 のように表示してある。
 - イ. マークシートのマーク欄は、すべて1から0まで10通りあるが、各小問の選択肢は必ずしも10通りあるとは限らないので注意すること。
 - ウ. どの小問も、選択肢には①、②、③……の番号がついている。
 - エ. 各問いに対して一つずつマークすること。

（マークシート記入例）

フリガナ	ユウベタロウ
名前	神戸太郎
教科名	商業科

受験番号					小問番号	解答記入欄	小問番号	解答記入欄	小問番号	解答
						1 - 25		26 - 50		51
数字で記入……					1	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	26	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	61	① ② ③ ④
					2	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	27	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	52	① ② ③ ④
					3	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	28	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	53	① ② ③ ④
					4	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	29	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	54	① ② ③ ④
					5	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	30	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	55	① ② ③ ④
					6	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	31	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	56	① ② ③ ④
					7	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	32	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	57	① ② ③ ④
					8	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	33	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	58	① ② ③ ④
					9	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	34	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	59	① ② ③ ④
					10	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	35	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	60	① ② ③ ④
					11	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	36	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	61	① ② ③ ④



【1】 次の問いに答えよ。

- (1) 次の文は「高等学校学習指導要領」(平成30年3月 文部科学省)における科目「第3章 主として専門学科において開設される各教科 第3節 商業 第2款 各科目 第8 ビジネス・マネジメント」に関する記述の一部である。(A) ～ (D) に当てはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

2 内容

1に示す資質・能力を身に付けることができるよう、次の〔指導項目〕を指導する。

〔指導項目〕

- (1) ビジネスとマネジメント
ア マネジメントの役割
イ (A) の重要性
ウ 創業者や経営者の理念
エ 外部環境の影響
- (2) (B) のマネジメント
ア (B) の形態
イ 経営理念と経営戦略
ウ 企業間連携と事業構造の再構築
- (3) 経営資源のマネジメント
ア 経営資源の種類と最適化
イ 人的資源のマネジメント
ウ 物的資源のマネジメント
エ 財務的資源のマネジメント
オ 情報的資源のマネジメント
- (4) 企業の秩序と責任
ア 企業統治
イ リスク・マネジメント
ウ 企業の (C) 責任
- (5) ビジネスの創造と展開
ア ビジネスの創造の意義と課題
イ (D) 管理
ウ 起業の意義と手続

- | | | | | |
|---|-----------|------|-------|----------|
| ① | A イノベーション | B 業務 | C 社会的 | D プロジェクト |
| ② | A イノベーション | B 組織 | C 社会的 | D プロジェクト |
| ③ | A イノベーション | B 組織 | C 法的 | D タスク |
| ④ | A グローバル化 | B 業務 | C 法的 | D プロジェクト |
| ⑤ | A グローバル化 | B 組織 | C 社会的 | D タスク |

(2)「高等学校学習指導要領」(平成30年3月 文部科学省)」および「高等学校学習指導要領解説 商業編」(平成30年7月 文部科学省)を踏まえ、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① マーケティング分野の科目は「マーケティング」「商品開発と流通」「観光ビジネス」である。
- ② 商業に関する学科における原則履修科目は「ビジネス基礎」「課題研究」の2科目である。
- ③ 会計ソフトウェアの活用に関する指導項目は、従前の「ビジネス情報」から「簿記」に移行された。
- ④ 「情報資産を共有し保護する環境の提供について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする」という目標は、「ネットワーク管理」の目標の1つである。
- ⑤ 従前の「ビジネス実務」については、ビジネスにおいて円滑にコミュニケーションを図るために必要な資質・能力を育成する視点から指導項目を再構成し、「ビジネス・コミュニケーション」とした。

【2】 次の問いに答えよ。

(1) 航空便1機に対しての需要予測に応じて、料金設定と提供座席数を細かく設定することで、航空便1機当たりの収益の最大化を目指す販売戦略のことを何というか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① イールドマネジメント ② ホスピタリティ ③ ホールセラー
④ アウトバウンド ⑤ アライアンス

3

(2) 独立した多数の小売業が、企業としての独立性を保ちつつ協力して組織することを何というか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① コーポレートチェーン ② サービタイゼーション ③ ボランタリーチェーン
④ シェアリング・エコノミー ⑤ フランチャイズチェーン

4

(3) 交渉に効果的な話法として、相手の意見に正面から反対するのではなく、さりげなく自分の意見を主張する話し方を何というか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 切り返し話法 ② 三段論法 ③ 切り出し話法 ④ 示唆指向法
⑤ 二者択一法

5

(4) 下表は、ある消費者が行ったスマートフォンの代替品評価の結果である。この消費者は、㊦カメラの性能、㊨バッテリーの持続時間、㊩価格、㊤ディスプレイの美しさといった縦軸に並ぶ属性を0～10点で評価している。また、属性の重要性はカメラの性能は5点、バッテリーの持続時間は4点、価格は3点、ディスプレイの美しさは1点とする。

多属性態度モデルによる代替品評価の結果、この消費者はどのスマートフォンを選択するか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

属性	A	B	C	D	E
㊦カメラの性能	8	7	4	6	7
㊨バッテリーの持続時間	6	8	5	8	6
㊩価格	5	8	9	7	9
㊤ディスプレイの美しさ	7	6	5	7	9

① A ② B ③ C ④ D ⑤ E

6

(5) 仲立人が売り主から2.6%、買い主から2.4%の手数料を受け取る約束で¥5,400,000の商品の売買を仲介したとき、仲立人が得た手数料の合計は¥ 7 8 0,000となった。7、8にあてはまる数字をマークシートの①～⑩から選び、番号で答えよ。

7 8

(6) 債権の担保のうち、当事者の契約によって生ずる担保物権に該当するものはどれか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

① 地上権 ② 抵当権 ③ 留置権 ④ 地役権 ⑤ 先取特権

9

(7) ビジネスにおいてソーシャルメディアを利用する時の注意点として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 仕事を進める上での指針・ルール・マナーを遵守する。
- ② 1日の投稿数やコメントへの対応方針を決め、投稿者を公平に扱う。
- ③ 法令を遵守し、個人情報の流出や肖像権・著作権の侵害をしない。
- ④ 投稿する内容は会社を代表した意見・姿勢と思われることを認識する。
- ⑤ 重大発表の際には社内チェックより、いち早く投稿することを優先して認知拡大を図る。

10

(8) マイナスの需要ショックを引き起こす原因として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 情報通信技術の急激な発達
- ② 政府支出の削減
- ③ 利子率上昇などにより借入れが困難になる場合の投資減退
- ④ 外国の景気悪化
- ⑤ 増税による消費の減退

11

(9) 1mにつき、¥490の商品を230m仕入れ、仕入諸掛¥12,1300を支払ったところ、諸掛込原価が¥119,700となった。12、13にあてはまる数字をマークシートの①～⑩から選び、番号で答えよ。

12 13

(10) 庭園、海浜、山岳などの名勝地で、芸術上または鑑賞上価値の高いものは、文化財保護法ではどの文化財として分類されるか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 文化的景観 ② 無形文化財 ③ 記念物 ④ 有形文化財 ⑤ 民俗文化財

14

(11) 価格の種類と価格の設定に関する説明として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 市場シェアの大きい有力企業が存在する場合には、管理価格が形成される。
- ② 同時に使用する商品のうち、どちらか一方の価格を安く、または無料に設定することで消費者をひきつけ、もう一方の商品の販売で利益が出るように設定される価格をバンドリング価格という。
- ③ 市場で実際に取引されている競合商品の価格を実勢価格という。
- ④ 市場導入時に、いち早く利益を回収することを目指して高く設定される価格を上澄吸収価格という。
- ⑤ ある製品カテゴリーに複数の価格帯を用意して設定される価格をライニング価格という。

15

(12) 消費者が居住地や勤務地の近くの店舗で日常的に購入するもので、同種の商品で品質の差がなく価格が比較的安価な一般食料品、日用雑貨、週刊誌などの商品を何というか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 部品 ② 専門品 ③ 最寄品 ④ 買回品 ⑤ 消耗品

16

(13) 訪日外国人観光客が減少する要因について説明した文章として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 日本の伝統文化や美しい自然などの観光資源が海外から注目されている。
- ② 国際博覧会やオリンピック、パラリンピックなどの世界規模のイベントが日本で開催される。
- ③ 駅の標識などの表記や、旅館やホテルの従業員の接客において、多言語に対応する。
- ④ 経済問題や外交問題によって日本との関係や両国の国民感情が悪化する。
- ⑤ キャッシュレス決済に対応した店舗を増やす。

17

(14) ある商品の予定売価から、予定売価の4%にあたる¥1,800を値引きして販売したところ、原価の20%の利益となった。このとき、原価は¥

18	19
----	----

,000である。

18

、

19

にあてはまる数字をマークシートの①～⑨から選び、番号で答えよ。

18

19

(15) 顧客に直接サービスを提供する接客従業員は、サービスの品質を左右する重要な存在である。接客従業員に適切なサービス提供を行ってもらうための企業の取組を何というか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① フロア・マネジメント ② サービス・プロフィット・チェーン
- ③ ソーシャル・マーケティング ④ インターナル・マーケティング
- ⑤ サービススケープ

20

(16) ビジネス・モデルに関する説明として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 自社で製品を開発、製造をすることなく、他社が製造した製品を仕入れて売ることによって収益を生み出すビジネス・モデルを卸売・小売モデルという。
- ② 当初無料でサービスを提供し、後からより高機能な有料のサービスに顧客を誘導するビジネス・モデルをフリーミアムという。
- ③ 自社が開発、製造を行い、製品やサービスの優位性で顧客から対価を受けとって収益を生み出すビジネス・モデルを物販モデルという。
- ④ オリジナルの著作物や意匠物の二次利用の権利を他社へ許諾する、その反対に他社から許諾をもらうことにより収益を生み出すビジネス・モデルをライセンスモデルという。
- ⑤ 製品やサービスの交換、ニーズのマッチングを実現する場を提供し、参加者への課金により収益を生み出すビジネス・モデルをサブスクリプションという。

21

【3】 次の問いに答えよ。

(1) 次の文は、現行の会計制度における貸借対照表の表示基準に関する記述である。(ア) ～ (ウ) にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

現行の会計制度において企業が公表する貸借対照表は、一般的に流動性配列法が採用されている。この方法において、企業の主たる営業活動にかかわる諸勘定は (ア)、それ以外の諸勘定は (イ) によって流動資産・負債と固定資産・負債に区分される。この表示により、財務情報の利用者は企業の (ウ) を知ることができる。

- | | | |
|--------------|------------|-----------|
| ① (ア) 実現基準 | (イ) 営業循環基準 | (ウ) 生産力 |
| ② (ア) 営業循環基準 | (イ) 発生基準 | (ウ) 収益効率性 |
| ③ (ア) 現金基準 | (イ) 1年基準 | (ウ) 収益効率性 |
| ④ (ア) 現金基準 | (イ) 発生基準 | (ウ) 支払能力 |
| ⑤ (ア) 営業循環基準 | (イ) 1年基準 | (ウ) 支払能力 |

22

(2) 棚卸資産の英語表記として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① assets ② inventories ③ goodwill ④ allowance ⑤ sales

23

(3) 期首にリース会社から機械をリース物件として調達した。リースの要件は次の通りであり、この取引はリース取引と判定された。リース料総額と見積現金購入額との差額は利息相当額とする。リース料支払時の処理を利子抜き法によって仕訳する場合、適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

リース期間 8年
 リース料年額 40,000円(毎決算期末に小切手の振り出しにより支払う)
 見積現金購入額 300,000円

	借方勘定科目	金額	貸方勘定科目	金額
①	リース債務	40,000	当座預金	40,000
②	リース資産 支払利息	37,500 2,500	当座預金	40,000
③	リース債務 支払利息	37,500 2,500	当座預金	40,000
④	賃借料	40,000	リース資産	40,000
⑤	リース資産	40,000	リース債務	40,000

24

(4) A社が決算日に金庫を実査したところ、保管されていたものは以下の通りであった。これに対して総勘定元帳の現金勘定残高は30,200円であった。現金の実際有高と帳簿残高との不一致の原因として、手数料の現金受取額1,100円が記入漏れであったことが判明したが、残額については原因が不明だったので、雑損または雑益として処理する。この仕訳として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

紙幣・硬貨	28,500円
B社振出しの小切手	2,000円
C社振出しの約束手形	3,000円
郵便為替証書	1,000円
切手	1,600円

	借方勘定科目	金額	貸方勘定科目	金額
①	現金	1,300	受取手数料	1,100
			雑益	200
②	現金	2,900	受取手数料	1,100
			雑益	1,800
③	現金	5,900	受取手数料	1,100
			雑益	4,800
④	雑損	3,900	受取手数料	1,100
			現金	2,800
⑤	雑損	1,800	受取手数料	1,100
			現金	700

(5) 20〇4年4月1日に満期まで保有する目的でB社が発行する社債（額面総額600,000円、年利3%、利払日9月末と3月末、償還期限は20〇9年3月31日）を額面100円につき96.5円で購入入れた。本日20〇5年3月31日につき半年分の利息を現金で受け取った。また決算にあたり、この社債を償却原価法（定額法）により評価する。本日用う仕訳として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

	借方勘定科目	金額	貸方勘定科目	金額
①	現金 有価証券利息	9,000 4,200	満期保有目的債券	13,200
②	現金 有価証券利息	9,000 4,200	社債	13,200
③	現金 満期保有目的債券	9,000 4,200	社債	13,200
④	現金 満期保有目的債券	9,000 4,200	有価証券利息	13,200
⑤	現金	13,200	有価証券利息	13,200

(6) 次の資料は本年度保有した有形固定資産の内訳である。この資料をもとに減価償却を行う。当社の会計期間は20〇4年4月1日から20〇5年3月31日である。減価償却方法は、備品は定率法、機械は生産高比例法によるものとし、処理方法は間接法による。なお備品は決算日に31,000円で売却し、代金は1ヶ月後に受け取ることになっている。決算日の仕訳として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

【資料】

	取得年月日	取得原価	耐用年数	残存価額	備考
備品	20〇2年4月1日	90,000円	10年	0円	償却率30%、減価償却累計額45,900円 20〇5年3月31日に売却。
機械	20〇3年5月1日	500,000円	6年	0円	総稼働可能時間200,000時間 当期稼働時間34,600時間

	借方勘定科目	金額	貸方勘定科目	金額
①	未収入金	31,000	備品	90,000
	備品減価償却累計額	45,900	機械減価償却累計額	97,140
	固定資産売却損	13,100		
	減価償却費	97,140		
②	未収入金	31,000	備品	90,000
	機械減価償却累計額	46,200	固定資産売却益	8,600
	減価償却費	67,300	備品減価償却累計額	45,900
③	未収入金	31,000	備品	90,000
	備品減価償却累計額	45,900	機械減価償却累計額	71,200
	減価償却費	80,200		
	固定資産売却損	4,100		
④	未収入金	31,000	備品	90,000
	備品減価償却累計額	45,900	固定資産売却益	9,910
	減価償却費	120,210	機械減価償却累計額	97,200
⑤	未収入金	31,000	備品	90,000
	備品減価償却累計額	45,900	固定資産売却益	130
	減価償却費	99,730	機械減価償却累計額	86,500

(7) 決算日現在の当座預金勘定の残高は358,000円であるのに対して、銀行から届いた残高証明書残高は395,000円であった。不一致の原因を確認したところ、次のア～エの事実が判明した。決算にあたり当社がすべき修正仕訳として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

ア 仕入先に対する買掛金の支払いとして振り出した小切手21,000円が銀行に未呈示であった。

イ 手数料の支払いとして小切手19,000円を振り出した際に12,000円と誤記していた。

ウ 貸付金の返済額32,000円が当座預金口座に振り込まれていたが、その通知が届いていなかった。

エ 決算日に売上代金9,000円を当座預金口座に預け入れたが、銀行では翌日付の入金として処理されていた。

	借方勘定科目	金額	貸方勘定科目	金額
①	売 上 当 座 預 金	9,000 23,000	貸 付 金	32,000
②	当 座 預 金 支払手数料	25,000 7,000	貸 付 金	32,000
③	当 座 預 金 支払手数料	14,000 7,000	買 掛 金	21,000
④	現 金 買 掛 金 当 座 預 金	9,000 21,000 9,000	支払手数料 貸 付 金	7,000 32,000
⑤	当 座 預 金 支払手数料	23,000 7,000	買 掛 金	30,000

(8) 当社の会計期間は20〇4年4月1日から20〇5年3月31日である。4年前から土地を貸し、毎年12月1日に向こう1年分の地代を受け取っている。以下の総勘定元帳の(ア)及び(イ)に入る金額の組合せとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。なお空欄に入る勘定科目及び金額は各自推定すること。

受取地代					
3/31	[]	()	4/1	[]	()
3/31	[]	(ア)	12/1	現金	75,600
		<u>()</u>			<u>()</u>
		<u> </u>			<u> </u>
前受地代					
4/1	[]	(イ)	4/1	前期繰越	()
3/31	次期繰越	()	3/31	[]	()
		<u>()</u>			<u>()</u>
		<u> </u>			<u> </u>
			4/1	前期繰越	()

- | | |
|--------------|------------|
| ① (ア) 14,600 | (イ) 25,200 |
| ② (ア) 25,200 | (イ) 50,400 |
| ③ (ア) 50,400 | (イ) 25,200 |
| ④ (ア) 75,600 | (イ) 50,400 |
| ⑤ (ア) 88,200 | (イ) 75,600 |

(9) 当社（決算年1回、会計期間は20〇4年4月1日～20〇5年3月31日）は、下記の20〇5年3月31日における総勘定元帳勘定残高（一部）と決算整理事項（一部）によって、報告式の損益計算書を作成した。損益計算書中の空欄（ア）及び（イ）に入る金額の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。なお空欄に入る勘定科目及び金額は各自推定すること。

総勘定元帳勘定残高（一部）（単位:円）

当座預金	892,000	売掛金	200,000	電子記録債権	300,000
売買目的有価証券	257,000	買掛金	186,000	満期保有目的債券	691,000
子会社株式	85,000	その他有価証券	262,000	貸倒引当金	3,000
売上高	3,630,000	売上原価	2,250,000		

[決算整理事項]（一部）

1. 電子記録債権90,000円が決済され、当座預金口座に代金が振り込まれた際に、誤って以下のとおり仕訳していたことが判明した。

（借方）電子記録債権 90,000 （貸方） 当座預金 90,000

2. 売掛金と電子記録債権の期末残高に対して2%の貸倒引当金を差額補充法により計上する。

3. 当社が保有する有価証券の内訳は以下のとおりである。なお保有する有価証券の時価については著しい変動はない。

[保有有価証券の内訳]

	帳簿価額	期末時価
売買目的有価証券	257,000円	249,000円
子会社株式	85,000円	84,700円

損益計算書		
20〇4年 4 月 1 日～20〇5年 3 月31日		(単位:円)
I 売上高		3,630,000
II 売上原価		2,250,000
	売上総利益	1,380,000
III 販売費及び一般管理費		
減価償却費	()	
貸倒引当金繰入額	(ア)	
()	()	()
	営業利益	()
IV 営業外収益		
()		()
V 営業外費用		
()		(イ)
	経常利益	()

- ① (ア) 3,400 (イ) 6,000
 ② (ア) 3,400 (イ) 8,000
 ③ (ア) 6,400 (イ) 3,300
 ④ (ア) 6,400 (イ) 6,300
 ⑤ (ア) 6,400 (イ) 14,300

- (10) 当社の当期末におけるデータを元に負債比率を求めると、3132.33 %となった。
31、32、33にあてはまる数字をマークシートの①～⑤から選び、番号で答えよ。ただし、比率が
 小数になる場合は小数第2位を四捨五入すること。

データ (単位:円)

流動資産	234,000
固定資産	427,000
流動負債	98,200
固定負債	215,400
資本金	347,400

31	32	33
----	----	----

- (11) 次の文は、標準原価計算における会計処理に関するものである。(ア)～(ウ)にあてはまる
 語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。ただし、(＊)は各自推定すること。

標準原価を複式簿記の仕組みに組み入れる方法は主に2つある。(ア)によれば、各原価要素の投入段階では各勘定には実際発生額を記入し、月末に実際生産量に(イ)を乗じて計算した標準原価を仕掛品勘定に記入する。したがってこの方法では、原価差額は月末になるまで判明しない。これに対して(＊)は、原価要素の投入段階に各要素勘定の(＊)に標準原価を記入するので、実際投入額と標準投入額が比較できる。そのため原価差額を迅速に把握できるような(ウ)企業に適しているといえる。

- | | | |
|-----------------|----------|----------|
| ① (ア) パーシャル・プラン | (イ) 原価標準 | (ウ) 小規模 |
| ② (ア) シングル・プラン | (イ) 原価標準 | (ウ) 受注生産 |
| ③ (ア) パーシャル・プラン | (イ) 実際単価 | (ウ) 大規模 |
| ④ (ア) シングル・プラン | (イ) 実際単価 | (ウ) 大量生産 |
| ⑤ (ア) パーシャル・プラン | (イ) 取得原価 | (ウ) 大規模 |

34

- (12) 当製作所では、直接配賦法により補助部門費を第1製造部門及び第2製造部門に配賦している。以下の部門費振替表の空欄 **35** ～ **38** にあてはまる数字をマークシートの①～④から選び、番号で答えよ。なお表中に入る金額は各自推定すること。

【資料】

当月の実際補助部門費の配賦のためのデータ

	配賦基準	第1製造部門	第2製造部門	動力部門	修繕部門	事務部門
動力部門費	供給電力量	42,000kw	28,000kw	6,000kw	－	－
修繕部門費	修繕回数	9回	7回	3回	－	1回
事務部門費	従業員数	40人	25人	10人	3人	2人

部門費振替表

(直接配賦法)

(単位:円)

部門費	配賦基準	金額	製造部門		補助部門		
			第1製造部門	第2製造部門	動力部門	修繕部門	事務部門
部門費合計			503,000	372,000	125,000	64,000	46,800
動力部門費	供給電力量		35 36 ,000				
修繕部門費	修繕回数			37 38 ,000			
事務部門費	従業員数						
製造部門費合計							

35	36	37	38
-----------	-----------	-----------	-----------

- (13) 次の材料の受払いの資料に基づき、総平均法により計算した当月の材料実際消費額を合計仕訳する場合、適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

資 料

11月 1 日 前月繰越高 350個 @200円
 7 日 購入 800個 @224円
 11日 払出 800個 (内訳：直接材料740個、間接材料60個)
 16日 購入 550個 @230円
 28日 払出 500個 (内訳：直接材料420個、間接材料80個)

	借方勘定科目	金額	貸方勘定科目	金額
①	仕 掛 品 製 造 間 接 費	256,360 30,940	材 料	287,300
②	仕 掛 品 材料消費価格差異	287,300 30,490	消 費 材 料	317,790
③	仕 掛 品	318,240	材 料	318,240
④	材 料	269,400	仕 掛 品 製 造 間 接 費	238,910 30,490
⑤	消 費 材 料	328,240	材 料	328,240

- (14) 当社は単純総合原価計算を採用して、Z製品を製造している。以下の資料に基づいて先入先出法により月末仕掛品原価を計算したところ、4041,4200円となった。40、41、42にあてはまる数字をマークシートの①～⑩から選び、番号で答えよ。なお、素材は製造着手時にすべて投入され、加工費は製造の進行に応じて消費されるものとする。

資 料

(1) 生産データ

	Z 製品	
月初仕掛品	100個	(加工進捗率20%)
当月投入	2,950個	
投入量合計	3,050個	
月末仕掛品	150個	(加工進捗率60%)
完成品	2,900個	

(2) 原価データ

	Z 製品
月初仕掛品原価	
原料費	15,600円
加工費	52,900円
当月製造費用	
原料費	383,500円
加工費	950,400円

40	41	42
----	----	----

- (15) 以下の資料に基づき、製造間接費として製造原価報告書に記載される間接経費の合計額は

43	44
----	----

45	46
----	----

 00円であった。

43

、

44

、

45

、

46

 にあてはまる数字をマークシートの①～④から選び、番号で答えよ。

資 料

(単位：円)

(1) 外注加工費	前期前払高	38,600	当期支払高	72,200	当期前払高	33,400
(2) 電力料	当期支払高	192,500	当期測定高	219,600		
(3) 減価償却費	当期消費高	392,400				
(4) 特許権使用料	当期支払高	163,200				
(5) 保険料	当期支払高	63,100				
(6) 修繕料	前期未払高	13,700	当期支払高	127,500	当期未払高	14,200

43	44	45	46
----	----	----	----

- (16) 当社はX製品を製造・販売している。以下の資料に基づく場合、固定費が14,700円減少すると、損益分岐点売上高は

47	48
----	----

、

49

 00円低下する。

47

、

48

、

49

 にあてはまる数字をマークシートの①～④から選び、番号で答えよ。

資 料

(1) 販売単価	3,500円
(2) 製品1個当たりの変動費	
直接材料費	500円
直接労務費	400円
変動製造間接費	30円
変動販売費	120円
(3) 固定費	
固定製造間接費	1,928,800円
固定販売費及び一般管理費	300,000円

47	48	49
----	----	----

【4】 次の問いに答えよ。

(1) (ア) ～ (エ) の各問いに答えよ。

(ア) 必要事項を記入するためのスペースを設け、そのスペースに何を書けばよいのかを説明する最小限の語句が印刷された事務用紙のことを何というか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 通信文書 ② 社内文書 ③ 社外文書 ④ 取引文書 ⑤ 帳票

50

(イ) 下の文について、a・bともに正しい場合は①、aは正しくbが誤りの場合は②、aが誤りでbが正しい場合は③、a・bともに誤りの場合は④と、番号で答えよ。

- a TCP/IPは、階層別にアプリケーション層、トランスポート層、インターネット層、ネットワークインタフェース層の4階層で構成されている。
- b SMTPサーバソフトウェアはメーラなどで作成・送信されたメールを受け取ったとき、SMTPプロトコルを利用して宛先のメールサーバに送信する。

51

(ウ) 下の文について、a・bともに正しい場合は①、aは正しくbが誤りの場合は②、aが誤りでbが正しい場合は③、a・bともに誤りの場合は④と、番号で答えよ。

- a RAID0は、同じデータを複数のHDDに書き込むことで、片方のHDDが故障しても別のHDDへのアクセスが可能になるため、高い信頼性を保つことができる。
- b 情報セキュリティの確保に取り組むうえで大切になるのは、対策をシステム化して継続的に改善していくことであり、このためのしくみを情報セキュリティポリシーという。

52

(エ) 次の表は、ある観光地の月別入場者数一覧表である。「9月」と「12月」のデータを比較するために、グラフを作成した。表の離れた範囲を同時に指定する際に使用するキーとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

	A	B	C	D	E
1					
2	月別入場者数一覧表 単位：千人				
3	観光地名	9月	10月	11月	12月
4	A	83	68	70	80
5	B	75	52	66	86
6	C	24	21	27	32
7	D	16	9	11	12

- ① **Shift** キー ② **Ctrl** キー ③ **Alt** キー ④ **Tab** キー ⑤ **Fn** キー

53

(2) 次の基数変換に関する計算問題の解答として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。なお [] 中の数字は基数を意味する。例) [2] …2進数

$$11011_{[2]} + 100_{[2]} = \boxed{54}_{[10]}$$

- ① 31 ② 32 ③ 45 ④ 46 ⑤ 92

54

(3) 通信速度が14Mbpsの通信回線を用いて、94.5MBのデータを伝送するのに何秒かかるか。このときの伝送効率は60%で、他の外部要因はないものとする。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。ただし、1MBは10⁶Bで計算すること。

- ① 75秒 ② 68秒 ③ 80秒 ④ 90秒 ⑤ 102秒

55

(4) あるコンピュータシステムの故障を修復してから75,000時間運用した。その間に80回故障し、最後の修復が完了した時点が75,000時間目であった。MTTRを80時間とすると、この期間でのシステムのMTBFは何時間となるか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 775.5時間 ② 800時間 ③ 825時間 ④ 732時間 ⑤ 857.5時間

56

(5) 稼働率0.85と稼働率0.95の装置を2台直列に接続したシステムに、稼働率0.8の装置をもう1台追加して3台直列のシステムにしたとき、システム全体の稼働率は2台直列のときを基準にすると、どのようなになるか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 約10%上がる ② 約10%下がる ③ 約20%上がる ④ 約20%下がる
⑤ 変わらない

57

(6) すでに予定されている業務や起案された案件に対して、会議を開くことなく、部課長などの決裁者が回覧・押印して許可を与えるための文書のことを何というか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 提案書 ② 稟議書 ③ 承諾書 ④ 目論見書 ⑤ 企画書

58

(7) 文頭の1文字を大きくし、強調する文字修飾のことを何というか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 外字 ② シフトJIS ③ ドロップキャップ ④ ヘッダー ⑤ 文頭表示

59

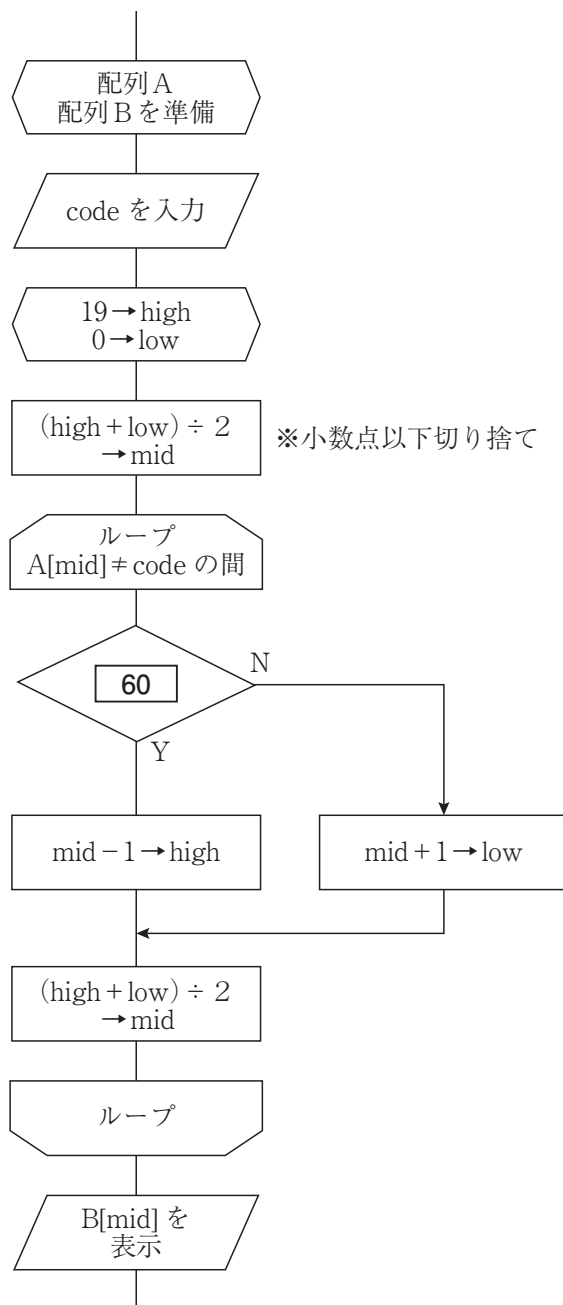
(8) 次の図は、ある店の会員データから、コードを入力して会員名を表示するプログラムの流れ図の一部である。流れ図の **60** にあてはまる処理として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

処理条件

- 1 初めに検索したい会員コードを入力する。
- 2 配列 A にはあらかじめ会員コードが、配列 B には名前が記憶されている。配列 A と配列 B の添字は対応している。
- 3 記憶されているデータは20件であり、会員コードの昇順に整列されている。データにエラーはないものとする。
- 4 検索したコードに対応した会員名が表示され、プログラムは終了する。

- ① $A[mid] < code$
- ② $A[mid] > code$
- ③ $A[mid - 1] > mid$
- ④ $A[mid - 1] < mid$
- ⑤ $A[mid + 1] < code$

60



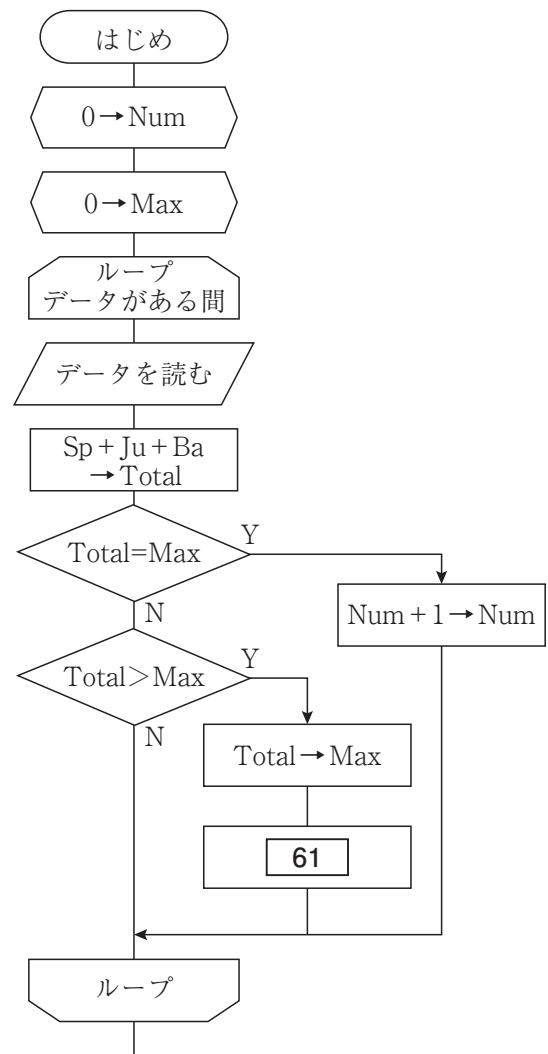
(9) 次の図は、ある競技会の審査の合計得点を求め、最高合計得点と最高合計得点者の数を表示するプログラムの流れ図の一部である。流れ図の **61** にあてはまる処理として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

処理条件

- 1 Sp,Ju,Baの3つの審査項目の得点が入力された入力データを読み取り、それぞれの項目の得点の合計を計算する。
- 2 データの読み取りが終了した後、最高合計得点と最高合計得点者の数を表示して処理を終了する。

- ① $0 \rightarrow \text{Max}$
- ② $\text{Max} + 1 \rightarrow \text{Max}$
- ③ $\text{Num} + 1 \rightarrow \text{Num}$
- ④ $1 \rightarrow \text{Num}$
- ⑤ $1 \rightarrow \text{Max}$

61



- (10) 次のSQL文は、単価が1,500円以上で10個以上の数量を売り上げた商品を担当している社員コードを抽出するものである。SQL文の

62

 にあてはまる語句として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

使用する表の項目名

商品表

商品コード	商品名	単価	分類コード
-------	-----	----	-------

売上表

売上コード	売上日	社員コード	商品コード	数量
-------	-----	-------	-------	----

分類表

分類コード	分類名
-------	-----

社員表

社員コード	社員日	在籍年数
-------	-----	------

SELECT 社員コード

FROM 売上表

WHERE

62

- ① 数量 >= 10 AND 商品コード EXISTS (SELECT 商品コード FROM 商品表 WHERE 単価 > 1500)
- ② 商品コード EXISTS (SELECT 商品コード FROM 商品表 WHERE 単価 >= 1500) AND 数量 >= 10
- ③ 数量 >= 10 AND 商品コード NOT IN (SELECT 商品コード FROM 商品表 WHERE 単価 >= 1500)
- ④ 商品コード NOT IN (SELECT 商品コード FROM 商品表 WHERE 単価 >= 1500) AND 数量 >= 10
- ⑤ 数量 >= 10 AND 商品コード IN (SELECT 商品コード FROM 商品表 WHERE 単価 >= 1500)

62

- (11) ある図書館では、書籍に関する情報をリレーショナルデータベースによって管理している。条件（ア）～（エ）をすべて満たすとき、出版社と著者と書籍との関係を示すE-R図として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

〔条件〕

- （ア）出版社は、複数の著者が書籍を出版している。
（イ）著者は、1つの出版社から出版している。
（ウ）著者は、複数の書籍を書いている。
（エ）1冊の書籍は、1人の著者が書いている。

エンティティと項目

出版社マスター

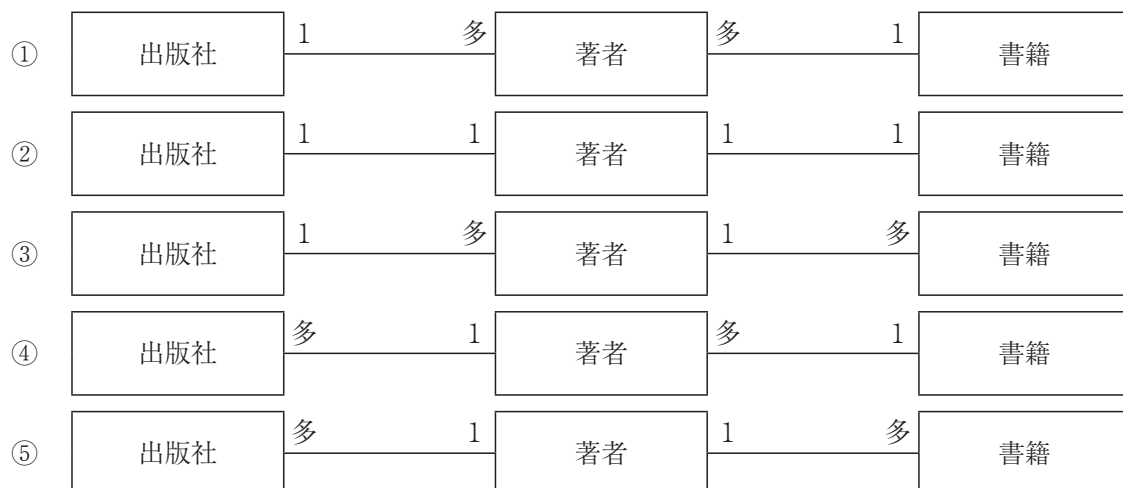
出版社ID
出版社名
住所

著者マスター

著者ID
著者名
出版社ID

書籍マスター

書籍ID
タイトル
著者ID



(12) 次の表は、あるクラスの試験結果についてまとめたものである。「上位2科目の合計」は「国語」・「英語」・「数学」のうち上位2科目の得点の合計を求めて表示し、「評価」は「上位2科目の合計」をもとに「評価表」を参照して表示する。なお、「評価表」の「上位2科目の合計」の欄は、「評価」ごとの下限の値を入力する。このとき、F3に入力する式として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。ただし、この式をF12までコピーするものとする。

	A	B	C	D	E	F
1	試験結果					
2	生徒番号	国語	英語	数学	上位2科目の合計	評価
3	1	54	76	67	143	
4	2	46	58	78	136	
5	3	87	76	60	163	
6	4	57	67	72	139	
7	5	67	66	77	144	
8	6	95	87	80	182	
9	7	81	77	59	158	
10	8	76	78	65	154	
11	9	69	54	46	123	
12	10	91	85	92	183	
13						
14					評価表	
15					上位2科目の合計	評価
16					100	C
17					140	B
18					180	A

- ① = HLOOKUP(E3,\$B\$3:\$D\$12,2,TRUE)
 ② = HLOOKUP(E3,\$E\$16:\$F\$18,1,FALSE)
 ③ = VLOOKUP(E3,\$E\$16:\$F\$18,2,TRUE)
 ④ = VLOOKUP(E3,\$E\$16:\$F\$18,2,FALSE)
 ⑤ = VLOOKUP(E3,\$B\$3:\$D\$12,2,TRUE)

- (13) 次の表は、ある学年の生徒の試験結果についてまとめたものである。「合計点」が210点以上となる生徒を対象としたクラス別の「合計点」の平均を求めるために、B16に入力する式として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。ただし、この式をB18までコピーするものとする。

	A	B	C	D	E	F
1	試験結果					
2	生徒番号	クラス	国語	英語	数学	合計点
3	1	A	54	76	67	197
4	2	B	46	58	78	182
5	3	A	87	76	60	223
6	4	C	57	67	72	196
7	5	B	67	66	77	210
8	6	A	95	87	80	262
9	7	A	81	77	59	217
10	8	C	76	78	65	219
11	9	C	69	54	46	169
12	10	B	91	85	92	268
13						
14	合計点が210点以上の生徒の平均					
15	クラス	平均				
16	A					
17	B					
18	C					

- ① =AVERAGEIFS(\$F\$3:\$F\$12, ">=210", \$F\$3:\$F\$12, A16, \$B\$3:\$B\$12)
 ② =AVERAGEIFS(\$F\$3:\$F\$12, ">=210", \$B\$3:\$B\$12, A16, \$F\$3:\$F\$12)
 ③ =AVERAGEIFS(\$F\$3:\$F\$12, \$B\$3:\$B\$12, ">=210", \$F\$3:\$F\$12, A16)
 ④ =AVERAGEIFS(\$F\$3:\$F\$12, \$F\$3:\$F\$12, ">=210", \$B\$3:\$B\$12, A16)
 ⑤ =AVERAGEIFS(\$B\$3:\$B\$12, \$F\$3:\$F\$12, ">=210", \$F\$3:\$F\$12, A16)

高校商業

正答・配点一覧表

問番号	解答番号	正答	配点	備考
【1】(1)	1	②	3	
(2)	2	③	3	
【2】(1)	3	①	2	
(2)	4	③	2	
(3)	5	④	2	
(4)	6	②	2	
(5)	7	②	3	完全解答
	8	⑦		
(6)	9	②	2	
(7)	10	⑤	2	
(8)	11	①	2	
(9)	12	⑦	3	完全解答
	13	⑩		
(10)	14	③	2	
(11)	15	②	2	
(12)	16	③	4	
(13)	17	④	2	
(14)	18	③	4	完全解答
	19	⑥		
(15)	20	④	2	
(16)	21	⑤	2	
【3】(1)	22	⑤	2	
(2)	23	②	2	
(3)	24	③	2	
(4)	25	①	2	
(5)	26	④	2	
(6)	27	⑤	2	
(7)	28	②	2	
(8)	29	④	2	
(9)	30	②	2	

(10)	31	⑨	3	完全解答
	32	⑩		
	33	③		
(11)	34	①	2	
(12)	35	⑦	3	完全解答
	36	⑤		
	37	②		
	38	⑧		
(13)	39	①	2	
(14)	40	④	3	完全解答
	41	⑧		
	42	③		
(15)	43	⑧	3	完全解答
	44	⑩		
	45	③		
	46	①		
(16)	47	②	4	完全解答
	48	①		
	49	⑩		
【4】(1) ア	50	⑤	2	
イ	51	①	2	
ウ	52	④	2	
エ	53	②	2	
(2)	54	①	2	
(3)	55	④	2	
(4)	56	⑤	2	
(5)	57	④	2	
(6)	58	②	2	
(7)	59	③	2	
(8)	60	②	3	
(9)	61	④	3	
(10)	62	⑤	3	
(11)	63	③	3	
(12)	64	③	3	

(13)	65	④	3	
------	----	---	---	--